

全国一般東京東部労組

メトロコマース支部
労契法20条裁判

非正規差別容認の 不当判決徹底糾弾

東京メトロ駅売店の非正規労働者でつくる全国一般東京東部労組メトロコマース支部が正社員との賃金差別をなくすために起こした裁判で三月二十三日、東京地裁が非正規労働者への差別を認める不当判決を言い渡しました。

判決は、一部(残業代の割増率に差をつけていた部分の増率)をのぞいて組合側の請求をほぼ全面的に棄却しました。毎月の基本給の差も、賞与の差も、退職金の有無も、住宅手当の有無も、褒賞(ほうしょう)金の有無もすべて労働契約法二〇条違反には該当しないと結論づけました。

判決後、メトロコマース支部は司法記者クラブで記者会見を行うとともに、日比谷図書館地下ホールで判決報告集会を開きました。報告集会で、支部組合員の原告四人は裁判所への怒りを爆発させ、「非正規差別を認める不当判決弾劾!」「東京地裁民事三六部 吉田徹裁判長は恥を知れ!」の横断幕を掲げ、怒りのシュプレヒコールをくり返した。判決後には支援者ら一五〇人とともに東京地裁正門前で「非正規差別を認める不当判決弾劾!」「東京地裁民事三六部 吉田徹裁判長は恥を知れ!」の横断幕を掲げ、怒りのシュプレヒコールをくり返した。

練馬全労協

りっこう幼稚園で 労働組合を結成

練馬区に新しい労働組合が誕生した。私立の幼稚園で働く労働者の「りっこう幼稚園労働組合」である。一九四八年開園の歴史ある幼稚園で「学校法人力行会」が運営しており、現職の練馬区議が理事長をしている。園長、副園長と事務職員四人を除く、人の教職員全員を組織し、練馬全労協に加入した。

四月三日からの認定ことも園の土曜日開設にあたり、労働条件はどうなるのか、開設が一月後にせまっているのに、未だ法人から何の説明も、労働条件の提示もなく、組合員は不安を持っている事を強く主張した。十日以内には具体的な返事をする事を約束させた。

団交を終えて開口一番、委員長が「より良い保育を守るための組合結成であり、そのためには安心して働ける職場と労働条件が必要」と結成の目的を説明した。

緊張感の中の初めての団交であったが多数の組合員の参加で、会場は次第に熱気につつまれた。組合員からの発言が相次ぎ、これまでの不満



上野アメ横でモデルカンなどを販売しているミリタリーショップ「マルゴ」の労働者でつくる全国一般東京東部労組マルゴ支部の組合員五人は、昨年末から一方的な店舗閉鎖と全員解雇に反対するために職場占拠闘争を続けてきましたが、二月二十八日、社長との解決合意書を締結調印しました。

解決の主な内容は、①不当

や問題点を法人にぶつけ、団結が確認できるスタートとなった。今後山積みの要求を勝ち取るためには、各種労働法

の学習と、組合員一人ひとりの労働者意識をどのように高めていくかが重要である。法人からの分断工作などに充分警戒しながら、練馬全労協と練馬ユニオンは新労組の誕生を祝うとともに全面的に支援していく。

泣き寝入りせずに最後まであきらめない組合員五人の体を張った闘いと、東部労組よってたかっこの団結、全国の労働者の支援で、組合員の職場と生活を守ることができました。組合員が営業を行う新店舗の店名は「Take Five」で、三月九日にオープンしました。ご支援いただいた皆さんに心から御礼を申し上げます。本当にありがとうございました!

静岡県共闘

地裁で完全勝利和解

二月二十日、トゥー・ワン・プロモーション損害賠償請求訴訟が、勝利和解しました。高水準の「解決金支払」のほか、例を見ない「会社、会社側加害者の謝罪文提出」など、原告、組合側主張をほぼ全面的に認める内容です。本闘争は、二〇一四年六月静岡競輪場の三人のパート労働者が、会社に対して「私たちの年休はどうなっていますか」という問いかけに始まり、最後まで団結を崩さなかったことによります。三年に及ぶ闘いを振り返り、今回の静岡地裁和解勝利とともに喜ぶ、今後も闘い続ける三人の組合員を励ます集会を開催します。(静岡ふれあいユニオン 小澤満男)

全国一般東京東部労組FAユニテッド分会 早期職場復帰を要求

二〇一六年五月三十一日、日本の航空路線へ参入している米國ユニテッド航空は、全国一般・全労働者組合FAユニテッド分会(旧称コンチネンタル分会)組合員の客室乗務員十二人に対し正当な理由もなく解雇を強行し、その労働権、生活権を大きく脅かしています。

ユニテッド航空に既に統合されているにも関わらず、コンチネンタルミクロネシア航空の名で成田ベースの生産

性が低いとの理由で二〇一六年三月末をもって成田ベースを閉鎖、五月には解雇とされました。

ユニテッド航空は、日本と米國との間の路線を運航するため、成田に日本人客室乗務員を主体とするベースを持つており、さらに米國本土から羽田空港へも就航しています。

合併後、会社の経営状態は非常に良く過去最高の利益を上げ、米國本土では新たに客室乗務員を数千人単位で採

静岡県共闘 組織破壊攻撃は 許さない!

昨年六月に誕生した静岡組合結成後、理由も明らかにせずに団交拒否を続け、御殿場本社、社長宅周辺での抗議宣伝活動を展開したが、頑なに団交拒

組合結成後、理由も明らかにせずに団交拒否を続け、御殿場本社、社長宅周辺での抗議宣伝活動を展開したが、頑なに団交拒

否を続ける興和産業は、労働委員会のあつせんをも拒否し、全く応じる様子がない。また、母国から帰国した組合員夫妻の就労を一時拒否した。解雇、就労拒否事件ではなく、KGU組織破壊攻撃と捉え、地位保全の法行為を行ってきた会社は裁判と不当労働行為救済申し立てを行い、組合を守り切るために闘いを続けていく。

三月八日の第一回団交には人の組合員が参加し、練馬全労協からも三人が同席した。

年、年度途中での園長交替があった。保護者と教職員の反対にもかかわらず、法人は強行に園長を交替し、現場の混乱を招いた。新園長は近隣の区立小学校の元校長の天下りである。園長人事以外でもこれまで、教職員の声を聞かない運営に不満、不信が募っていた。